

## 第6回高岡医療圏糖尿病療養指導セミナープログラム

開催日時：2024年12月12日（木） 18:30~20:00

18:30~19:15

演題1「災害に際して内分泌・代謝の専門医療は何をすべきか」

講師：金沢大学付属病院 内分泌・代謝内科 中野 雄二郎 先生

要旨：

内分泌・代謝疾患において、動脈硬化疾患の予防やホルモン補充によるQOLの維持によって健康な人と変わらない生活を送ることは重要である。感染症、動脈梗塞、そして災害といった不測の事態に対しては、事前の準備と速やかな対応が求められる。しかし、頻度の少ない事例に関しては個人の経験に限りがあるため、次の事態に備えるためには様々な情報を共有することが有用である。今回令和6年能登半島地震に際して金沢大学内分泌・代謝内科医の目線で糖尿病の医療経験を紹介する。

19:15~20:00

演題2「令和6年能登半島地震における事務対応と1.5次避難所での活動」

講師：金沢大学付属病院 栄養管理部 栄養管理室長、石川県栄養士会 理事

徳丸 季聡 先生

要旨：

令和6年能登半島地震において、石川県栄養士会は石川県との災害協定に基づき、避難所や仮設住宅への特殊栄養食品の提供や栄養相談などの食支援を実施した。本セミナーでは食支援実施に際し生じた諸課題に対する事務対応と1.5次避難所での食支援について、糖尿病患者の事例を交え紹介する

※日本糖尿病療養指導士認定機構「認定更新のための研修会」第2群0.5単位申請中

※とやまCDE(旧とやま糖尿病療養指導士)の更新単位 1単位